

1 知 事 公 室

施 策 名：沖縄の「幸せ」を拓く ―生活充実プラン―

安心・安全で快適な社会づくり

事 業 名：沖縄県大災害時救援システム検討事業費

1 事業の目的・内容

大規模災害（地震・津波・風水害等）に備え、他県等から人員・物資等の応援を受け入れるための仕組みを構築する。

2 事業の実績

（単位：千円）

事業区分	平成 27 年 度				備 考
	計 画		実 績		
	予算額	事業内容	決算額	事業内容	
防災対策費	10,785	1 救援物資等の受入先候補地および施設の事前調査（公有施設の調査） 2 受入先候補施設の活用可能性調査（施設の絞込み、施設カルテ作成） 3 受援計画（素案）の策定（拠点の策定、運営等の総合統制）	6,252	1 救援物資等の受入先候補地および施設の事前調査（公有施設の調査） 2 受入先候補施設の活用可能性調査（施設の絞込み、施設カルテ作成） 3 受援計画（素案）の策定（拠点の策定、運営等の総合統制）	

3 事業の効果

大規模災害発生に係る他県等からの応援受け入れを円滑かつ迅速に行うための課題が整理できた。

4 その他

他県等からの応援を受け入れるための受援計画（素案）を取りまとめた。平成28年度は、国及び関係機関と協議を行い、当該計画策定を目指す。

施 策 名：沖縄の「平和」を拓く ―平和創造プラン―

基地問題の解決と駐留軍用地の跡地利用

事 業 名：地域安全政策事業

1 事業の目的・内容

米軍基地から派生する諸問題の解決に向け、基地問題や安全保障、国際情勢等の調査・研究を実施するとともに、普天間飛行場の一日も早い危険性除去の実現及び辺野古新基地建設問題の解決に向けて取り組みを行う。また、米国ワシントンD.C. 駐在員を配置し、情報収集及び情報発信を行う。

2 事業の実績

(単位：千円)

事業区分	平成 27 年 度				備 考
	計 画		実 績		
	予算額	事業内容	決算額	事業内容	
地域安全政策費	235,686	1 有識者ネットワークを構築し、調査・研究を行う 2 外部研究者等と連携して、共同研究、委託調査等を行う 3 米国ワシントンD.C. に駐在員を配置し、情報収集及び情報発信を行う 4 普天間飛行場の危険性除去に向けた広報活動、要請等を行う 5 辺野古新基地建設問題対策及び調整等に向けた取組を行う	202,914	1 有識者ネットワークを構築し、調査・研究を行った 2 外部研究者等と連携して、共同研究、委託調査等を行った 3 米国ワシントンD.C. に駐在員を配置し、情報収集及び情報発信を行った 4 普天間飛行場の危険性除去に向けた広報活動、要請等を行った 5 辺野古新基地建設問題対策及び調整等に向けた取組を行った	

3 事業の効果

- (1) 米軍基地から派生する諸問題の解決に向け、基地問題や安全保障、国際情勢、危機管理等の調査・研究を実施するとともに、有識者ネットワークの拡大が図られた。
- (2) 米国ワシントンD.C. に駐在員を配置し、情報収集及び情報発信を行うことで、知事の考えや沖縄の正確な状況を米国政府、連邦議会等へ説明した。
- (3) 辺野古新基地建設問題及び普天間飛行場の危険性除去に関する政府との各種協議を行った。

施 策 名：沖縄の「平和」を拓く - 平和創造プラン -

基地問題の解決と駐留軍用地の跡地利用
 事 業 名：基地対策

1 事業の目的・内容

在日米軍再編で示された海兵隊の兵力等の削減、嘉手納飛行場より南の施設・区域の返還、日米地位協定の抜本的な見直し等を日米両政府に強く働きかける。また、SACO合意事案の円滑、着実な実現に努める。

2 事業の実績

(単位：千円)

事業区分	平成 27 年 度				備 考
	計 画		実 績		
	予算額	事業内容	決算額	事業内容	
基地関係 業務費	36,327	1 米軍基地の整理縮小の促進に係る業務 2 軍転協、渉外知事会等に係る業務	31,188	米軍基地の整理縮小の促進の要請等 1 H27.5 ワシントンD.C.で政府関係者等に要請(知事) 2 H27.7.30 防衛大臣等に要請(渉外知事会) 3 H28.3.3-4 総理大臣等に要請(軍転協)	

3 事業の効果

- (1) 日米両政府により、平成24年4月、在沖海兵隊約9千人の国外移転が、平成25年4月に嘉手納飛行場より南の米軍施設・区域の統合計画が示された。
- (2) 統合計画については、日米両政府に対し、移設する場所や施設内容等の具体的な返還手順等の十分な説明を行うこと、政府の責任において移設に伴う諸課題の解決及び移設先の環境整備を行うことを求めた。
- (3) また、軍転協及び渉外知事会において、基地の整理、縮小及び早期返還について協議を行うとともに、知事が訪米するなどして日米両政府に対し、基地問題の解決を要請した。

施策名：沖縄の「平和」を拓く - 平和創造プラン -

基地問題の解決と駐留軍用地の跡地利用

事業名：不発弾等対策事業

1 事業の目的・内容

県内に埋没する不発弾等の探査・発掘等を実施し、市町村の公共事業に係る探査費及び発見された不発弾の処理費用の補助を行うなど、不発弾等の早期処理を図る。

2 事業の実績

(単位：千円)

事業区分	平成27年度				備考
	計画		実績		
	予算額	事業内容	決算額	事業内容	
不発弾等 処理事業 費	2,928,703 (45,891)	埋没不発弾等の探査・発掘及び不発弾の一時保管等 1 不発弾等処理工事 2 広域探査発掘加速化事業 3 市町村支援事業 4 不発弾等保安管理事業 5 特定処理事業 6 住宅等開発磁気探査支援事業	2,587,122 (40,289)	埋没不発弾等の探査・発掘及び不発弾の一時保管等 1 不発弾等処理工事 2 広域探査発掘加速化事業 3 市町村支援事業 4 不発弾等保安管理事業 5 特定処理事業 6 住宅等開発磁気探査支援事業	

() は、平成26年度からの繰越事業である

3 事業の効果

県民の生命・財産及び県民生活に多大な影響を与えている不発弾等を早期に処理する目的で実施しており、昭和47年度から平成27年度までの処理件数は36,150件、処理重量は1,988トンとなっている。

4 その他

今後とも、同事業を継続して不発弾の処理を促進する。